

# カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成30年2月15日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	時任 文代

実施概要	実施活動名	ふとくフェスティバル
	実施日時	平成30年1月29日 午前9時から午後2時30分
	実施場所	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校（体育館、なかまの家、中学部教室、職員室）
	実施目的	学習発表や展示・販売活動を通して、交流校や近隣の学校、地域の人々など多くのふれあいの機会を設け、お互いの友好を深めたり、関わりを広げたりする。
	実施内容	児童生徒による学習発表（舞台発表）と児童生徒作成による製品の展示・販売、PTAによるバザー活動（附属小PTAや障害者施設等の出店も含む）
	実施方法	事前にポスターやチラシ、マスメディアを通して地域を含む鹿児島県下に告知する。午前中に学習発表、午後から作業学習等で作成した製品を販売する。物品バザーや食バザーは、PTAが主体となって実施する。バザーには本校以外に附属小PTAや障害者施設も出店する。
参加人数	児童生徒60人、保護者約90人、教職員39人、学生ボランティア11人、地域の方々約300人	

報告事項	内容	<p>【発表の部】 舞台発表（9:00～11:00） 児童生徒会役員によるオープニング、小・中・高各学部の発表、高等部3年生による将来の夢 校長挨拶</p> <p>【ふれあい活動】 生徒の作業製品販売、バザー（11:30～14:00） 中学部・高等部生徒作業製品販売（手芸、窯業、木工の各製品） 本校PTAによるバザー（提供品、手作り品の販売、うどん、焼きそばなどの食バザー） 附属小PTAによるバザー（提供品販売、ジュースの販売） 障害者施設による製品販売（4事業所による手作り品やクッキーなどの販売）</p> <p>【クロージング】（14:15～14:30） 児童生徒会長、PTA会長の話 ※鹿児島大学マスコットキャラクター「さつつん」も参加</p>
	結果	<p>気温も低く、途中で雨が降ったりやんだりするあいにくの天候であり、インフルエンザの流行も心配されたが、多くの方が来校してくださった。事前学習の成果もあり、児童生徒は日頃の学習の成果を舞台上で思い切り発表したり、製品販売でお客さんとのやり取りをしたりすることができた。事前に案内を学校ホームページや市内を走る路面電車の中吊り広告に掲載したこと、交流相手校や近隣の商店などにポスターを掲示させていただいたことの成果もあり、一般のお客様も多く訪れてくださった。児童生徒の発表する姿を見て「感動した。」とおっしゃる方や作業製品を目当てに早くから並んで待つ方もいらっしやった。今年度は販売のお手伝いをしてくださる附属小学校のPTAの方に生徒の作業製品を購入できるチケットを準備し、お渡ししたことで、例年以上に生徒の製品を購入してくださった。学長や副学部長、各附属学校園の幼児児童生徒も訪れてくださり、障害のある子どもたちへの理解を深めていただくことができた。毎年楽しみにしていると言ってくれる地域の方もおり、イベントが地域の方にも定着してきている。</p>
	所感	<p>形式、時期が変わって4年目を迎え、学校への問合せが増えてきたり、リピーターが増えてきたりするなど活動が広まってきていることを感じる。本校への入学を検討していると思われる障害のある幼児児童生徒とその家族の姿も見られ、学校の教育内容やPTA活動を知っていただく機会にもなっていると感じた。12月の親子ふれあい活動の成果からか附属学校園のPTAの方々だけでなく、児童生徒たちの姿も昨年度より多く見られた。二つの行事の相乗効果で次年度以降、もっともっと四附属学校園の連携を深めていきたい。福祉施設から出店の問い合わせもあるので、学校だけでなく、障害のある方々について理解・啓発を深める良い機会になると思う。来年度は11月開催に時期を変更するので、広報活動や扱う製品、発表内容など工夫をすることで、多くの方々に来校していただけるようにしたい。</p>

## 添付書類

収支決算書、領収書添付シート、参加感想、写真、市電中吊り広告



## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月15日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
学年	

- ・ 唐揚げと焼きそばのお昼ごはんがおいしかったです。楽器を鳴らしたり、お客さんが買ったものの袋づめをしたりしてがんばりました。（中1男子）
- ・ 私ががんばったのは、ミシンできんちゃく袋を作ったことと総務委員会で、オープニングで、せりふを大きな声でいうことをがんばりました。（中3女子）
- ・ 「江戸時代にタイムスリップ」でみんなでパッヘルベルの「カノン」を弾きました。トーンチャイムを弾きました。お母さんが上手だったとほめてくれてうれしかったです。窯業班では葉っぱ皿がたくさん売れました。うれしかったです。（中3女子）
- ・ ライオンキングでダチョウの役をしました。技能検定の自在ホウキの使い方を発表しました。緊張したけど上手にできたのでよかったです。製品販売はさをりのネームホルダーとビーズストラップがたくさん売れました。私が作ったのもたくさん売れたのですごくうれしかったです。うどんを食べていたらさつつんが来ました。さつつんと写真を撮りました。さつつんはかわいいけど大きかったです。（高2女子）  
※ さつつん…鹿児島大学公式マスコットキャラクター
- ・ 最後のふとくフェスティバルで僕はガゼルの役をしました。Aさんと一緒に歌を歌いました。恥ずかしかったけど大きな声で歌いました。木工班の野菜ストッカーがすぐに売り切れたのでびっくりしました。もっとたくさん作ればよかったと思いました。（高3男子）

## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月15日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

- ・ 先日のふとくフェスティバル、特別支援学校って素晴らしいなとあらためて思いました。娘は舞台から降りてしまったり、床にひっくり返ったり、先生泣かせではありましたが、すぐに戻り、続けることができました。保育園の頃の発表会では、みんなが合唱する中で舞台を走り回る我が子に身の縮まる思いでしたが、附特のありのままを受け入れてくれる雰囲気、わたしも落ち着いて見ることができました。（小学部保護者）
- ・ 先日のふとくフェスティバルで司会をこなしたり、ダンスを踊ったりしている姿に驚きました。手足しか動かさない自己流に変わっていましたが・・・。「失敗したこともあったけど頑張った。」と息子が言っていた一生懸命作った黄色のフリーカップ、大事にしたいです。（中学部保護者）
- ・ 娘は手芸班でさをり織りに取り組みました。ふとくフェスティバルでは、これまでに作った製品がたくさん並びました。大きな声で呼び込みをしたり、心をこめて接客したりする姿に成長を感じました。（高等部保護者）
- ・ 今年は寒さやインフルエンザの流行が大変心配されましたが、学長さんや附属学校園のPTA会長さんをはじめ、多くの方々が来ていただき大変盛り上がりホッとしました。親子ふれあい活動の時に来ていた小学校の子どもさんもたくさん来ていました。また、先生方に作業製品を購入できるチケットを準備していただいたおかげで、販売に来られていた小学校のPTAの方々も子どもたちの製品販売を見に行き、買っていただくことができましたようです。今年も、附属学校園のつながりを深めることができよかったです。PTA活動が忙しいという声も聞かれますが、みんなが協力して準備から活動、片付けまで取り組むことで大成功に終わったと思います。近隣の方もたくさんいらっしゃるの、今後も本校の子どもたちの理解を深めていただく機会として大切にしていきたいと感じました。（PTA役員）

# 1月の鹿児島大学

KAGOSHIMA UNIVERSITY  
 進取の気風にあふれる総合大学

鹿児島大学広報センター 電話 099-285-7035



附属特別支援学校の児童とさっつん

## 上映会「屋久島の森に眠る人々の記憶」

1月5日(金) 18:00~20:00  
 農・獣医共通棟 1階 101 講義室

<総合司会>  
 奥山洋一郎氏 (鹿大農学部・助教)  
 <趣旨説明>  
 柴崎茂光氏 (国立歴史民俗博物館  
 研究部・准教授)



2015年に制作された  
 民俗研究映像。  
 初の鹿児島開催です。



入場  
 無料

【お問い合わせ先】  
 農学部森林政策学 枚田  
 E-mail: khirata@agri.kagoshima-u.ac.jp

## アフリカの農業を考える

1月20日(土) 15:30~17:00  
 天文館ビジョンホール 4階  
 鹿児島市東千石町 13-3 天文館電停前

「オリザと過ごした27年  
 -アフリカの農業を考える-」  
 講師: 坂上潤一氏 (鹿大農学部・教授)

アフリカ固有のイネにつ  
 いて27年間研究。  
 現地の生活や国際協力も  
 合わせて紹介します。



【お問い合わせ先】  
 医歯学総合研究科健康科学専攻  
 国際島嶼医療学講座 嶽崎  
 TEL: 099-275-6853  
 E-mail: jica@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

参加  
 無料

## サイエンスカフェがごしま

### 「様々な銀河たち」

話し手: 長尾 透さん  
 (愛媛大学宇宙進化研究センター)

宇宙138億年の銀河の歴史。どのように  
 進化を遂げてきたのかをご紹介します

(CINAO)

1月21日(日) 18:00~19:30  
 音楽館 Rain (レイン)  
 鹿児島市東千石町 15-15 ゴンザ通り  
 ブルーベルビル 2F (099-226-8464)  
 最新の研究についてカフェでコーヒー  
 片手に気軽に語り合いませんか?

【お問い合わせ先】  
 農大若手教員サイエンスカフェ有志の会 飯笹  
 TEL: 090-9721-0249  
 E-mail: cafekago@gmail.com

## 地域キャリア・インターンシップ説明会

1月26日(金) 13:30~15:30  
 農・獣医共通棟 1階 101 講義室

地元企業の皆様に、鹿児島大学が実施する  
 課題解決型「地域キャリア・インターンシ  
 ップ」の実施に向けた説明会を実施します

●概要説明、実施学生の報告、質疑&意見交換等



【お問い合わせ先】  
 産学官連携推進センター COC+ 推進部門 南  
 TEL: 099-285-6487  
 E-mail: plus01@gm.kagoshima-u.ac.jp

## ふとくフェスティバル

1月28日(日) 9:00~14:00  
 教育学部附属特別支援学校  
 鹿児島市下伊敷 1-10-1

午前の部 小・中・高等部の児童生徒に  
 による舞台発表  
 歌唱、演奏、劇、  
 ダンスなど

午後の部 小・中・高等部の児童生徒に  
 による製品展示・販売  
 陶芸製品、木工製品、手芸製品など

★PTAによる手作り品バザー、お食事もどうぞ!  
 【お問い合わせ先】  
 教育学部附属特別支援学校  
 TEL: 099-224-6257

## 稲盛経営哲学

2月11日(日) 13:00~16:30  
 稲盛会館 (郡元キャンパス)

募集定員: 270名  
 (事前申込・受付先着順)  
 「地域産業・中小規模組織と  
 稲盛経営哲学」

●第1部: 基調講演  
 「稲盛経営哲学が組織を変える」  
 三矢 裕氏 (神戸大学大学院教授)  
 ●第2部: パネルディスカッション

【お申し込み・お問い合わせ先】  
 稲盛アカデミー  
 TEL: 099-285-3751  
 E-mail: inamori@kuas.kagoshima-u.ac.jp

参加  
 無料

## 司法政策教育研究センター 法律相談

1月25日(木) 15:00~17:00  
 郡元キャンパス総合教育研究棟7階  
 司法政策教育研究センター

【予約・お問い合わせ先】  
 司法政策教育研究センター  
 TEL: 099-285-3905, 7569

## 大学病院 面会制限のお知らせ

2月10日(土)~2月12日(月) 終日  
 新病棟への移転作業を行いますので、  
 患者様への面会、お見舞いはご遠慮下  
 さい。

【お問い合わせ先】  
 病院管理課再開発推進係  
 TEL: 099-275-6719, 6009

## 平成30年度 入試日程

●一般入試<インターネット出願期間>  
 1月22日(月)~1月31日(水) 17時必着  
 ※出願力は、1月15日(月)~1月31日(水)  
 ●個別学力検査等  
 前期: 2月25日(日)・26日(月)  
 後期: 3月12日(月)  
 【お問い合わせ先】  
 学生部入試課  
 TEL: 099-285-7355

## 大学院人文社会科学研究科 II期入試

出願期間: 1月4日(木)~1月10日(水)  
 試験日: 2月13日(火)  
 【お問い合わせ先】  
 法文学部大学院係  
 TEL: 099-285-7646

